

第6回

# がんと代謝 研究会

in 奄美大島

2018年5月10日(木)・11日(金)

会 場 奄美観光ホテル(鹿児島県)

〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL:0997-52-2221

実行委員長 森 正樹

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授

第6回がんと代謝研究会事務局 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2、E2 Tel:06-6879-3251 Fax:06-6879-3259

E-mail:cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp



第  
6  
回

# がんと代謝 研究会 in 奄美大島

会 期

2018 年 5 月

会 場

10 日 (木) ▶ 11 日 (金)

奄美観光ホテル

〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町 2-10 TEL: 0997-52-2221

森 実行委員長 (大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 教授)

---

■事 務 局 : 大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2、E2

TEL : 06-6879-3251 / FAX : 06-6879-3259

E-mail : [cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp)

---

# 目 次

ごあいさつ .....	1
開催概要 .....	2
会場へのアクセス .....	3
口頭発表者へのご案内 .....	6
プログラム .....	9
ポスターインデックス .....	15

## ごあいさつ

### 第6回がんと代謝研究会の開催にあたって

このたび、第6回がんと代謝研究会を平成30年5月10日から11日までの日程で鹿児島県奄美市奄美観光ホテルにて開催させていただき光栄に感謝申し上げます。

がんと代謝研究会は平成25年に慶応大学の曾我朋義教授が実行委員長として第1回研究会を開催して以来、今回で6回目を数えます。日本のがんの研究に関わる有志から開始された研究会として例年、わが国を代表するがん研究のエキスパートだけではなくがんの臨床に携わる医師、臨床検査技師、パラメディカルも参加して、多様な発展を遂げているフレキシビリティの高い研究会であります。研究会名に冠している如くに、がんまたは代謝に関わる情報交換の場ということで、最新の検査、計測、解析の技術だけでなく、新型デバイスや分子プローブを用いたがんの診断やコンパニオン診断薬、さらには現場から得られたビッグデータを解析して新しいソリューションを出すなどのこれまでにない新しい情報共有のあり方を模索している集会であります。このようにわが国のコアとなる人材の集会でありながら、柔軟性を担保した発展を続けるために学会の体裁は取らずに研究会として自由闊達に集う場としております。

このたび大阪大学大学院医学系研究科消化器外科が主催することになりましたので、クリニカルサイドからの新しいネットワークを創り上げて、特に外科診療の観点から、基礎研究をoutside-inして学問の新しい起爆剤としてがんと代謝の研究を大きく進化させたいと考えております。

これまでにない新しい形での情報交換と企業活動の影響力、そして産学共創の新展開が期待できる会合にしたいと考えております。その意味では、奄美大島での開催は、従来の大型学会では実現することができない出会いが南国の島で実現できるものと期待しております。南国奄美大島の5月の平均気温は22.7であり1年の中でも大変過ごしやすい季節です。エメラルドグリーン  
の海など癒しの奄美大島で心と体を浄化して頂き、良き思い出とともに明日への活力を養って頂きたいと思っております。教室員一同、皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

第6回がんと代謝研究会

実行委員長 森正樹

大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科 教授

## 開催概要

- 会 期：2018年（平成30年）5月10日（木）・11日（金）
- 会 場：奄美観光ホテル  
（〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL：0997-52-2221）
- 実行委員長：森 正樹（大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学 教授）
- 事務局：大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2、E2  
TEL：06-6879-3251 / FAX：06-6879-3259  
E-mail：[cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp](mailto:cancermetabo@cfs.med.osaka-u.ac.jp)
- 参加費：一般 6,000円（事前参加登録 5000円）  
学生 2,000円  
※学生については、学生証の提示が必要です。
- 懇親会：日時：2018年5月10日（木）19時～（希望者のみ）  
場所：山羊島ホテル <http://yagijima.com/>  
〒894-0001 鹿児島県奄美市名瀬大熊字鳩 1382-1  
参加費：一般 5,000円  
学生 無料  
※学生については、学生証の提示が必要です。
- 実行委員会  
曾我 朋 義（慶應義塾大学）                      高橋 智 聡（金沢大学）  
江角 浩 安（東京理科大学）                  田久保 圭 誉（国立国際医療研究センター）  
平尾 敦（金沢大学）                              田 沼 延 公（宮城県立がんセンター）  
岡本 康 司（国立がん研究センター）        中 釜 齊（国立がん研究センター）  
落合 淳 志（国立がん研究センター）        本 橋 ほづみ（東北大学）  
北林 一 生（国立がん研究センター）        南 嶋 洋 司（九州大学）  
小松 雅 明（新潟大学）                        藤 田 恭 之（北海道大学）  
佐谷 秀 行（慶應義塾大学）                  古 川 龍 彦（鹿児島大学）  
末松 誠（日本医療研究開発機構）          後 藤 典 子（金沢大学）  
石井 秀 始（大阪大学）
- 現地実行委員（大阪大学）  
松田 宙（消化器外科）  
水島 恒和（消化器外科）  
今野 雅允（先進癌薬物療法開発学）

## 会場へのアクセス

### 第6回がんと代謝研究会

会場のご案内：奄美観光ホテル  
〒894-0026鹿児島県奄美市名瀬港町2-10 TEL:0997-52-2221



### 第6回がんと代謝研究会

- 各空港から奄美空港までの交通手段（飛行機）

羽田	⇄直行便	奄美大島
伊丹		
福岡		

新千歳	⇄経由	鹿児島	⇄直行便	奄美大島
仙台				
羽田				
中部				
伊丹				
福岡				

- 奄美空港到着口マップ



- 交通（バス）のご案内  
奄美空港⇄鳩浜入口バス停⇄港町奄観前  
※鳩浜入口バス停：山羊島ホテルバス停  
港町奄観前：奄美観光ホテル（会場）

奄美空港	鳩浜入口	港町奄観前
8:47	9:30	9:40
9:45	10:30	10:40
10:15	11:00	11:10
11:15	12:00	12:10
11:45	12:30	12:40
12:45	13:30	13:40
13:15	14:00	14:10
14:15	14:00	15:10
14:45	15:30	15:40
15:15	16:00	16:10
16:15	17:00	17:10
17:15	18:00	18:10
17:45	18:30	18:40
18:17	19:00	19:10
18:47	19:30	19:40

港町奄観前	鳩浜入口	奄美空港
7:28	7:31	8:15
7:58	8:01	8:45
8:58	9:01	9:47
9:28	9:31	10:17
9:58	10:01	10:47
10:58	11:01	11:47
11:28	11:31	12:17
12:28	12:31	13:17
12:58	13:01	13:47
13:58	14:01	14:47
14:28	14:31	15:17
15:28	15:31	16:17
15:58	16:01	16:47
16:58	17:01	17:47
17:18	17:31	18:05

## 会場へのアクセス

### 第6回がんと代謝研究会

#### 飛行機

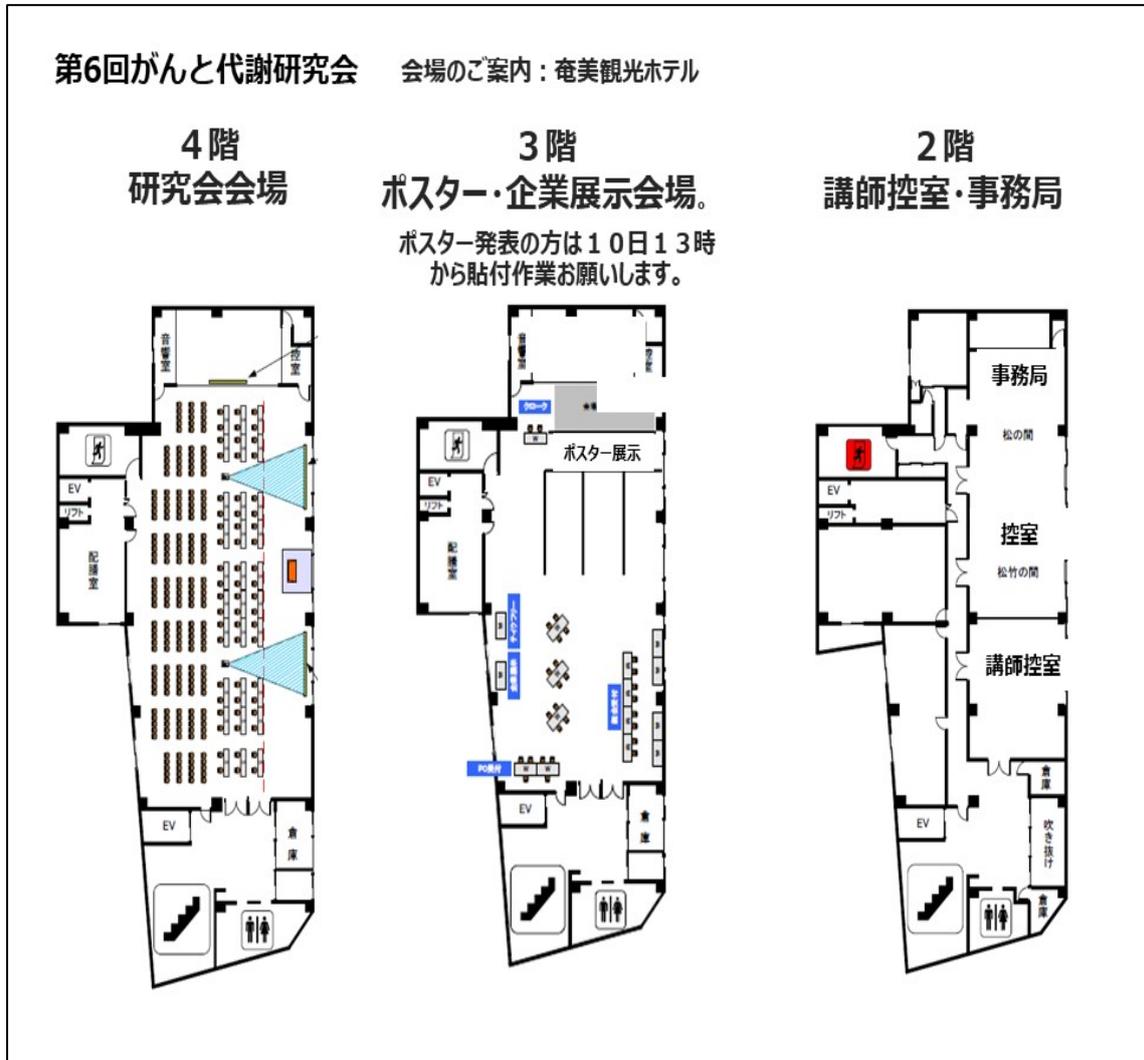
##### ●奄美空港出発便

奄美空港出発便				
便名	到着地	便出発	便到着	備考
3722	鹿児島	08:45	09:35	
3841	徳之島	09:10	09:45	
<del>3724</del>	<del>鹿児島</del>	<del>09:35</del>	<del>10:30</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
3724	鹿児島	09:45	10:45	5/7~5/31運航
3831	喜界島	11:05	11:25	
3726	鹿児島	11:40	12:30	
2464	伊丹	12:05	13:30	
3833	喜界島	12:10	12:25	
3851	沖永良部	13:05	13:45	月・水・金・日曜運航
3861	与論	13:05	13:50	火・木・土曜運航
3728	鹿児島	13:15	14:10	5/7~5/31運航
<del>3729</del>	<del>鹿児島</del>	<del>14:40</del>	<del>15:35</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
0854	沖縄	14:15	15:20	
0824	成田	14:20	16:30	
0658	羽田	15:5	17:05	
3730	鹿児島	15:30	16:20	
0874	関西	15:50	17:15	
3843	徳之島	16:00	16:35	
3732	鹿児島	16:05	17:00	5/7~5/31運航
3835	喜界島	16:15	16:35	
<del>3992</del>	<del>鹿児島</del>	<del>16:45</del>	<del>17:45</del>	<del>5/2~5/6運航</del>
3736	鹿児島	17:55	19:05	
3684	福岡	18:45	20:00	
3738	鹿児島	19:00	19:55	

##### ●奄美空港到着便

奄美空港到着便				
便名	出発地	便出発	便到着	備考
3681	福岡	07:05	08:15	
3721	鹿児島	07:25	08:45	
<del>3729</del>	<del>鹿児島</del>	<del>08:05</del>	<del>09:10</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
3723	鹿児島	08:00	09:15	5/7~5/31運航
<del>3991</del>	<del>鹿児島</del>	<del>09:05</del>	<del>10:20</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
3842	徳之島	10:10	10:40	
3830	喜界島	10:35	10:55	
3727	鹿児島	10:10	11:05	
2465	伊丹	09:30	11:10	
3832	喜界島	11:55	12:15	
3729	鹿児島	11:45	12:50	5/7~5/31運航
<del>3729</del>	<del>鹿児島</del>	<del>13:10</del>	<del>14:15</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
0853	沖縄	12:50	13:50	
0823	成田	11:00	13:40	
0659	羽田	12:10	14:25	
3731	鹿児島	13:55	14:50	5/7~5/31運航
<del>3731</del>	<del>鹿児島</del>	<del>14:00</del>	<del>14:55</del>	<del>5/1~5/6運航</del>
0873	関西	13:25	15:10	
3834	喜界島	15:10	15:30	
3733	鹿児島	14:35	15:40	5/7~5/31運航
3862	与論	15:10	15:50	月・水・金・日曜運航
3850	沖永良部	15:10	15:45	火・木・土曜運航
<del>3990</del>	<del>鹿児島</del>	<del>16:00</del>	<del>16:15</del>	<del>5/2~5/6運航</del>
3844	徳之島	17:00	17:30	
3735	鹿児島	16:55	17:50	
3737	鹿児島	17:30	18:35	

## 会場ご案内



## 口頭発表者へのご案内

口頭発表者は会場で受付を行ってください。(7:30 より)

発表者は発表セッション開始までに発表者席に待機してください。

発表時間は、指定演題、公募演題ともに発表 25 分、質疑 5 分です。

なお、若手演題は発表 15 分、質疑 5 分です。

特別公演は、50 分間です。質疑等に関しては座長に一任します。

モーニングセッション、ランチョン、イブニングはそれぞれプログラムに従ってお願いします。

プログラムの時間割に従い、座長により進行されます。必ず時間内に終わるようにご準備ください。発表順、進行等はすべて座長の指示に従ってください。

すべて PC 発表(1 面映写)のみと致します。

なお、投影画面サイズは、XGA (1024×768 ドット) でご用意しています。

本会は PC 受付がございませんので、発表前に PC 担当者までお声掛け頂き動作確認のうえご発表お願いいたします。演者の台のうえに、発表用 PC がセットされていますので、操作は発表者ご自身で行ってください。

### ＝Windows 使用の先生方へ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

#### 1) PC 本体を持参する場合

- ①事前に外部ディスプレイでの映写確認をお願いします。
- ②一部のノート型 PC に外部出力端子が独自の形状のものがありますので、ご確認のうえ、D-Sub Mini15 ピンへの変換コードを必ずご持参ください。

#### 2) USB フラッシュメモリーを持参する場合

- ①各会場では、PowerPoint2007～2013 がインストールされた PC のみ用意しています。
- ②データ持込の場合は、作成に使用した PC 以外の PC で事前に作動チェックすることを強く推奨します。
- ③ファイル名は「演題番号(半角)演者名(漢字).ppt(または.pptx)」としてください。
- ④メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスチェックソフトでスキャンを行ってください。
- ⑤持込素材は、下記に限定します。
  - ・USB メモリー
  - ・動画ファイルの最大ファイルサイズ 10MB  
プレゼンテーションに他のデータ(動画等)もリンクされている場合は、必ず元のデータも同じフォルダに保存していただき、先に示した PC にて事前に動作確認をお願いします。また、高画質、圧縮データの動画を使用する先生は、バックアップとしてご自身の PC 本体のご持参をお勧めします。
- ⑥PC 内にコピーした発表データは、発表終了後事務局で責任をもって削除します。

＝Macintosh 使用の先生方へ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

原則として PC 本体をご持参ください。

USB フラッシュメモリーでの持込はできません。

- ①事前に外部ディスプレイでの映写確認をお願いします。
- ②変換コード、電源接続コードを必ずご持参ください。

＝座長の先生方へのお願い＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

ご担当セッションの開始5分前までに必ず会場右手前方の座長席にお着きください。  
ご担当セッションは時間厳守にてお願いいたします。

**ポスター発表者へのご案内**

ポスター発表には、縦 1800 mm×横 900 mm のパネルをご用意いたします。  
パネルに貼付けされている番号をご確認のうえ、提示してください。

	掲示	撤去
5月10日(木)	13時から	(掲示のまま)
5月11日(金)	(掲示のまま)	17:00まで

撤去後のポスターはお持ち帰りをお願いします。

＝ポスターセッション＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

5月10日(木) (自由にご討論ください)

5月11日(金) 10:30-12:00 (90分間) 奇数 10:30～11:15 偶数 11:15～12:00

- ・発表者は、ポスターセッションの開始時刻までにポスター前に待機してください。
- ・時間になりましたら演題番号が奇数の方からご発表を開始してください。奇数の方の発表時間が終わりましたら、続いて偶数の方より発表をお願いします。
- ・発表時間は、指定の発表時間内に終わるよう調整してください。
- ・座長による進行はありません。

＝優秀ポスター発表賞＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

実行委員会の厳正な審査によって、優秀な発表者に対して優秀ポスター発表賞を授与いたします。



# プログラム

第1日目 5月10日(木)

8:00-8:45 モーニングセッション1

司会：鹿児島大学大学院腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学 夏越 祥次  
「膠原病の症状を呈した癌症例」

福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学 中島 衡

(共催：ミヤリサン製薬株式会社)

8:45-8:50 開会の挨拶

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 森 正樹

8:50-10:20 セッション1 がん代謝制御機構

座長：慶應義塾大学先端生命科学研究so メタボローム研究グループ 曾我 朋義  
宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部 田沼 延公

1-1 「Coordinated GTP Metabolism for Nucleolar Transcription in Glioblastoma and Beyond」

University of Cincinnati, College of Medicine 佐々木 敦朗

1-2 「オンコメタボライト L-2HG による新規がん生存シグナル」

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、慶應義塾大学先端生命科学研究so 田畑 祥

1-3 「O-結合型糖鎖修飾によるがん細胞のプロテアソーム阻害剤の分子機構」

東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野 関根 弘樹

10:20-10:35 コーヒーブレイク

10:35-11:35 セッション2 がん微少環境

座長：国立がん研究センター研究所 腫瘍生物学分野 荒川 博文

新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生物学野 小松 雅明

2-1 「オートファジーとは異なるミトコンドリア分解メカニズムとそのがん抑制作用について」

国立がん研究センター研究所 腫瘍生物学分野 荒川 博文

2-2 「Autophagy regulates lipid metabolism」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子生物学分野 小松 雅明

11:35-12:20 ランチョン1

---

司会：大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 土岐 祐一郎

「胃がん治療における栄養サポートの重要性～生存率向上を目指して

～」

市立豊中病院 外科 今村 博司

(共催：大鵬薬品工業株式会社)

12:20-13:50 セッション3 腸内細菌、免疫

---

座長：九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門分子医科学分野 南嶋 洋司

大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学、東京理科大学理工学部応用生物科学科 大谷 直子

3-1 「肥満関連肝がんの微小環境における IL-33 の活性化機構と役割」

大阪市立大学大学院医学研究科病態生理学、東京理科大学理工学部応用生物科学科 蒲池 史卓

3-2 「腸管 IgA 抗体による腸内細菌制御機構の解明と応用」

東京大学 定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野 新藏 礼子

3-3 「低分化胃癌の免疫レパトア解析により 主要液性がん抗原として 同定された硫酸化糖鎖」

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野 石川 俊平

13:50-14:05 コーヒーブレイク

---

14:05-15:05 セッション4 公募

---

座長：北海道大学遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野 藤田 恭之

鹿児島大学大学院・医歯学総合研究科 分子腫瘍学分野 古川 龍彦

4-1 「グルタミン代謝に関わる Sirt4 の大腸癌における機能解析」

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 柳澤 公紀

4-2 「アミノ酸代謝リプログラミングによるがん進行の制御」

ジョージア大学・生化学分子生物学分野、国立がん研究センター・造血器腫瘍研究分野 服部 鮎奈

15:05-16:05 セッション5 若手セッション

---

座長：東京大学 先端科学技術研究センター ニュートリオミクス・腫瘍学分野 大澤 毅

：大阪大学大学院医学系研究科 先進薬物療法開発学 今野 雅允

5-1 「がん悪液質の病態生理解明を目指した研究」

愛知県がんセンター研究所分子病態学部 小島 康

5-2 「抗酸化ストレス応答はメトホルミンによる抗腫瘍効果を誘導する」

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 免疫学 西田 充香子

5-3 「飽和脂肪酸による骨髄系細胞分化制御とがん退縮効果」

大阪大学大学院薬学系研究科分子生物学、ワクチン・免疫制御学、大阪大学国際医工情報センター 立花 雅史

16:05-16:55 特別講演

---

座長：東京大学 先端科学技術研究センター 代謝医学分野

東北大学 大学院医学系研究科 細胞生物学講座 分子生理学分野 酒井 寿郎

**「脂肪細胞の代謝と制御機構」**

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF)

UCSF Diabetes Center, Eli and Edythe Broad Center of Regeneration

Medicine and Stem Cell Research, Department of Cell and Tissue Biology 梶村 真

吾

16:55-17:40 イブニング

---

司会：大阪市立十三市民病院 西口 幸雄

**「がん患者の栄養管理」**

大阪大学国際医工情報センター、栄養デバイス未来医工学共同研究部門 井上 善文

(共催：コヴィディエンジャパン株式会社)

第2日目 5月11日(金)

8:00-8:45 モーニングセッション2

司会：慶應義塾大学先端生命科学研究so メタボローム研究グループ 曾我 朋義  
「血管内皮幹細胞による血管の維持と腫瘍血管形成における意義」

大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 高倉 伸幸  
(共催：中外製薬株式会社)

8:45-10:15 セッション6 エピゲノム

座長：金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野 平尾 敦  
金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍分子生物学研究分野 高橋 智聡

6-1 「S-アデノシルメチオニン産地消機構とその細胞増殖における意義」

東北大学大学院医学系研究科生物化学分野 五十嵐 和彦

6-2 「代謝による多能性幹細胞の分化制御」

東京工業大学 生命理工学院 糸 昭苑

6-3 「変異型 IDH1 を標的とした新規がん治療法の開発」

国立がん研究センター研究所・造血器腫瘍研究分野 北林 一生

10:15-10:30 コーヒーブレイク

10:30-12:00 ポスター

12:00-12:45 ランション2

司会：大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 松田 宙  
「肥満・糖尿病に対する外科治療」

四谷メディカルキューブ 減量・糖尿病外科センター 笠間 和典  
(共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

12:45-13:45 セッション7 がん幹細胞

座長：国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト 田久保 圭誉  
国立がん研究センター 造血器腫瘍研究分野 北林 一生

7-1 「ヒト白血病幹細胞における幹細胞性維持機構としての分枝鎖アミノ酸経路の同定」

九州大学医学研究院 病態修復内科、九州大学医学研究院 応用病態修復学 菊繁 吉謙

7-2 「骨髄メタボローム解析に基づく造血幹細胞ニッチのエイジング機構の解析」

国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト 田久保 圭誉

13:45-14:15 コーヒーブレイク

14:15-15:45      セッション8 代謝創薬、診断

---

座長：東京大学大学院薬学系研究科 薬品代謝化学 浦野 泰照

国立がん研究センター 先端医療開発センター 落合 淳志

8-1 「肝胆膵領域における術中蛍光イメージングの応用」

がん研有明病院 消化器外科、東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科 石沢 武彰

8-2 「血漿 apolipoprotein A2 2 量体 C 末端アミノ酸切断異常を用いた効率的な膵がん

検診法の開発とリスク層別化の可能性」

国立がん研究センター研究所早期診断バイオマーカー開発部門、AMED CREST 本田 一文

8-3 「合成生物学的アプローチによる疾患治療細胞のデザインと開発」

東京大学大学院医学系研究科 生体情報学分野、

ETH Zurich, Department of Biosystems Science and Engineering 小嶋 良

輔

15:45-16:05 ポスター賞発表、閉会の挨拶、次期実行委員長挨拶

## ポスターインデックス

**P- 01 上皮細胞層の炎症様応答によるがん変異細胞の排除制御**

佐藤 奈波<sup>1,2</sup>、八子 優太<sup>1,2</sup>、丸山 剛<sup>1,2</sup>、藤田 恭之<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学遺伝子病制御研究所分子腫瘍分野

<sup>2</sup>北海道大学大学院総合化学院 生物化学コース 分子医化学講座 分子腫瘍分野

**P- 02 がん細胞の生存に関わる新規のエピジェネティクス制御機構**

原地 美緒、増井 憲太、柴田 亮行

東京女子医科大学 病理学第一講座

**P- 03 IFN- $\gamma$ 刺激によるヒト乳がん細胞由来細胞外小胞内の代謝物量的変化と役割**

田所 弘子<sup>1</sup>、工藤 竜平<sup>2</sup>、平山 明由<sup>2</sup>、吉岡 祐亮<sup>1</sup>、杉本 昌弘<sup>2</sup>、落谷 孝広<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立がん研究センター・研究所・分子細胞治療研究分野、<sup>2</sup>慶應義塾大学・先端生命科学研究所

**P- 04 StageIV消化器癌に対する集学治療における補助療法としての糖質制限食**

村上 博史<sup>1</sup>、渡部 まゆみ<sup>2</sup>、五十嵐 真由美<sup>2</sup>

<sup>1</sup>保谷厚生病院 外科、<sup>2</sup>保谷厚生病院 栄養科

**P- 05 糖代謝酵素のスプライシング変化による認知症発症機構の解明**

今野 雅允<sup>1</sup>、浅井 歩<sup>1,2</sup>、田沼 延公<sup>3</sup>、島 礼<sup>3</sup>、小関 準<sup>1</sup>、佐藤 太郎<sup>2</sup>、

土岐 祐一郎<sup>3</sup>、森 正樹<sup>3</sup>、石井 秀始<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科先進薬物療法開発学、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 疾患ゲータサイエンス学、<sup>3</sup>宮城県立がんセンター研究所がん薬物療法研究部、<sup>4</sup>大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 06 Rac1-GEF 間相互作用阻害剤の *in silico* フラグメントマッピング法によるバーチャルスクリーニング**

小澤 新一郎、北村 祐万、山乙 教之、中込 泉、吉田 智喜、広野 修一

北里大学薬学部

**P- 07 トランスクリプトーム解析による転写因子 NRF1 のがん細胞における機能解明**

畠中 惇至<sup>1</sup>、和久 剛<sup>2</sup>、渡辺 亮<sup>3</sup>、小林 聡<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻、

<sup>2</sup>同志社大学生命医科学部医生命システム学科、<sup>3</sup>京都大学 iPS 細胞研究所

**P- 08 選択的オートファジーによる脂質代謝制御**

齊藤 哲也<sup>1</sup>、久万 亜紀子<sup>2,3</sup>、杉浦 悠毅<sup>4</sup>、一村 義信<sup>1</sup>、李 賢喆<sup>5</sup>、  
鐘ヶ江 祐美<sup>6、7</sup>、斎藤 泉<sup>7</sup>、Johan Auwerx<sup>8</sup>、末松 誠<sup>4</sup>、横溝 岳彦<sup>5</sup>、  
曾我 朋義<sup>9</sup>、和栗 聡<sup>10</sup>、水島 昇<sup>2</sup>、小松 雅明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学生化学第一、<sup>2</sup>東京大学分子生物学、<sup>3</sup>大阪大学遺伝学、<sup>4</sup>慶應義塾大学医化学、  
<sup>5</sup>順天堂大学生化学第一、<sup>6</sup>東京慈恵会医科大学、<sup>7</sup>東京大学医科学研究所、  
<sup>8</sup>スイス連邦工科大学、<sup>9</sup>慶應義塾大学、<sup>10</sup>福島県立医科大学

**P- 09 腫瘍増大に寄与するプロテオスタシス制御機構**

和久 剛<sup>1</sup>、小林 聡<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>同志社大学生命医科学部医生命システム学科、  
<sup>2</sup>同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻

**P- 10 大腸癌幹細胞における Autophagy・Lysosome 活性の動態の解析と新規標的治療薬の開発**

竹田 充伸<sup>1</sup>、原口 直紹<sup>1</sup>、高橋 秀和<sup>1</sup>、三吉 範克<sup>1</sup>、畑 泰司<sup>1</sup>、松田 宙<sup>1</sup>、水島 恒和<sup>1</sup>、  
山本浩文<sup>2</sup>、土岐祐一郎<sup>1</sup>、森正樹<sup>1</sup>

大阪大学大学院医学系研究科 <sup>1</sup>消化器外科学、<sup>2</sup>保健学専攻 分子病理学研究室

**P- 11 高脂肪食下前立腺癌間質微小環境活性化と前立腺癌進展における MIC-1/GFRAL の役割**

黄 明国、成田 伸太郎、井上 高光、羽瀨 友則

秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学

**P- 12 Mint3 を標的としたがん治療の可能性**

坂本 毅治<sup>1</sup>、林 哲郎<sup>1</sup>、福井 優也<sup>1</sup>、鄭 裕花<sup>1</sup>、村上 善則<sup>1</sup>、清木 元治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学医科学研究所・人癌病因遺伝子分野、<sup>2</sup>金沢大学・医学系

**P- 13 大腸癌肝転移例に対する術前化学療法臓器機能への臨床的検討**

吉留 博之<sup>1,2</sup>、小西 孝宜<sup>2</sup>、大塚 将之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>市立国保大網病院外科 <sup>2</sup>千葉大学臓器制御外科

**P- 14 Artificial Intelligence trained with the convolutional neural network predicts radiosensitivity by phase contrast microscopic images of mouse and human cancer cell lines.**

Masayasu Toratani<sup>1</sup>, Masamitsu Konno<sup>2, 3</sup>, Ayumu Asai<sup>2, 3</sup>, Jun Koseki<sup>2</sup>, Koichi Kawamoto<sup>2</sup>, Keisuke Tamari<sup>1</sup>, Zhihao Li<sup>1</sup>, Daisuke Sakai<sup>3</sup>, Toshihiro Kudo<sup>3</sup>, Taroh Satoh<sup>3</sup>, Katsutoshi Sato<sup>4, 5</sup>, Daisuke Motooka<sup>6</sup>, Daisuke Okuzaki<sup>6</sup>, Yuichiro Doki<sup>7</sup>, Masaki Mori<sup>7</sup>, Kazuhiko Ogawa<sup>1</sup>, and Hideshi Ishii<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>Department of Radiation Oncology, Graduate School of Medicine, Osaka University; <sup>2</sup>Department of Disease Data Science, Graduate School of Medicine, Osaka University; <sup>3</sup>Department of Frontier Science for Cancer and Chemotherapy, Graduate School of Medicine, Osaka University; <sup>4</sup>Advanced Radiation Biology Research Program, Research Center for Charged Particle Therapy, National Institute of Radiological Sciences, QST; <sup>5</sup>Department of Hematology and Medical Oncology, Icahn School of Medicine at Mount Sinai; <sup>6</sup>Genome Information Research Center, Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Suita, Osaka 565-0871, Japan; <sup>7</sup>Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medicine, Osaka University

**P- 15 胃癌手術における手術侵襲と血中グルタミン濃度変動**

林 勉<sup>1</sup>、山本 浩史<sup>2</sup>、原 健太郎<sup>1</sup>、刑部 弘哲<sup>1</sup>、中園 真聡<sup>1</sup>、長澤 伸介<sup>1</sup>、熊頭 勇太<sup>1</sup>、山田 貴允<sup>1</sup>、青山 徹<sup>3</sup>、佐藤 勉<sup>3</sup>、大島 貴<sup>3</sup>、利野 靖<sup>3</sup>、益田 宗孝<sup>3</sup>、尾形 高士<sup>1</sup>、吉川 貴己<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神奈川県立がんセンター 消化器外科、<sup>2</sup>味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所、<sup>3</sup>横浜市立大学外科治療学

**P- 16 食道扁平上皮癌における3D organoid培養の意義**

喜多 芳昭<sup>1</sup>、貴島 孝<sup>1</sup>、中川 裕<sup>2</sup>、盛 真一郎<sup>1</sup>、田辺 寛<sup>1</sup>、内門 泰斗<sup>1</sup>、佐々木 健<sup>1</sup>、尾本 至<sup>1</sup>、有上 貴明<sup>1</sup>、柳田 茂寛<sup>1</sup>、松下 大輔<sup>1</sup>、前村 公成<sup>1</sup>、夏越 祥次<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鹿児島大学大学院 腫瘍学 消化器・乳腺甲状腺外科、<sup>2</sup>Division of Gastroenterology, Department of Medicine, Abramson Cancer Center, Perelman School of Medicine

**P- 17 直腸癌術前化学療法の治療効果判定におけるPET-CTの有用性の検討**

野村 雅俊、高橋 秀和、三吉 範克、原口 直紹、畑 泰司、松田 宙、山本 浩文、水島 恒和、土岐 祐一郎、森 正樹

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 18 Mass spectrometric analysis of 2-hydroxyglutarate in gliomas with the isocitrate**

**dehydrogenase-1 mutation**

林 光博<sup>1</sup>、大野 誠<sup>2</sup>、市村 幸一<sup>3</sup>、成田 善孝<sup>2</sup>、濱田 哲暢<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野、<sup>2</sup>国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科、<sup>3</sup>国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野

- P- 19 多層オミックス解析による肺がん上皮間葉転換における新規代謝機構の探索**  
中宿 文絵<sup>1</sup>、田畑 祥<sup>1,2</sup>、坂本 毅治<sup>3</sup>、平山 明由<sup>1,2</sup>、山田 忠明<sup>4</sup>、衣斐 寛倫<sup>4</sup>、矢野 聖二<sup>4</sup>、富田 勝<sup>1,2</sup>、曾我 朋義<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、<sup>2</sup>慶應義塾大学先端生命科学研究所、  
<sup>3</sup>東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野、<sup>4</sup>金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科
- P- 20 胆道癌における ACAT1 の発現とゲムシタピン耐性に関する検討**  
植野 吾郎<sup>1</sup>、岩上 佳史<sup>1</sup>、江口 英利<sup>1</sup>、山田 大作<sup>1</sup>、浅岡 忠史<sup>1</sup>、野田 剛広<sup>1</sup>、川本 弘一<sup>1</sup>、後藤 邦仁<sup>1</sup>、小林 省吾<sup>1</sup>、土岐 祐一郎<sup>1</sup>、森 正樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
- P- 21 外部環境によるがん幹細胞様変化と抗生剤の有効性**  
内海 健  
九州大学 大学院医学研究院 臨床検査医学
- P- 22 <sup>13</sup>C グルコースを使ったマウス個体での *in vivo* トレーサー解析**  
田沼 延公<sup>1</sup>、野村 美有樹<sup>1</sup>、福原 達郎<sup>2</sup>、坂本 良美<sup>1</sup>、島 礼<sup>1</sup>、本橋 ほづみ<sup>3</sup>、紙 健次郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>宮城がんセ研・がん薬物療法、<sup>2</sup>宮城がんセ病院・呼吸器内科、  
<sup>3</sup>東北大加齢研・遺伝子発現制御、<sup>4</sup>ヒューマンメタボロームテクノロジーズ
- P- 23 小細胞肺がんにおける、Pkm1-Pkm2 活性型ヘテロ複合体の形成**  
野村 美有樹<sup>1</sup>、盛田 麻美<sup>1,2</sup>、坂本 良美<sup>1</sup>、島 礼<sup>1</sup>、前門戸 任<sup>2</sup>、田沼 延公<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>宮城がんセ研・がん薬物療法、<sup>2</sup>宮城がんセ病院・呼吸器内科
- P- 24 ミトコンドリア代謝が関わる EMT 現象および放射線耐性獲得**  
高岡 祐史<sup>1</sup>、今野 雅允<sup>2</sup>、浅井 歩<sup>2</sup>、川本 弘一<sup>2</sup>、小関 準<sup>2</sup>、玉利 慶介<sup>1</sup>、石井 秀始<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院放射線治療学、<sup>2</sup>大阪大学大学院疾患データサイエンス学
- P- 25 大腸がんの細胞増殖を制御する  $\beta$ -catenin-NRF3-20S プロテアソーム経路**  
小林 聡<sup>1,2</sup>、青野 栞<sup>2</sup>、Chowdhury AM Masudul<sup>2</sup>、畠中 惇至<sup>2</sup>、筆宝 義隆<sup>3</sup>、和久 剛<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>同志社大学生命医科学部医生命システム学科、  
<sup>2</sup>同志社大学大学院生命医科学研究科 医生命システム専攻、<sup>3</sup>千葉県がんセンター研究所

**P- 26 膵がんの悪性化に関わるエピトランスクリプトーム制御**

浅井 歩<sup>1,2</sup>、今野 雅允<sup>1,2</sup>、小関 準<sup>1</sup>、佐藤 太郎<sup>2</sup>、後藤 典子<sup>4</sup>、土岐 祐一郎<sup>3</sup>、森 正樹<sup>3</sup>、石井 秀始<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院 疾患データサイエンス学、<sup>2</sup>大阪大学大学院 先進癌薬物療法開発学、  
<sup>3</sup>金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野、<sup>4</sup>大阪大学大学院 消化器外科

**P- 27 腹膜傷害動物モデルにおける中皮細胞の上皮間葉転換 (EMT) とグルタミン代謝亢進**

平原 一郎<sup>1</sup>、草野 英二<sup>2</sup>、金 徳男<sup>1</sup>、高井 真司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科大学大学院医学研究科創薬医学、<sup>2</sup>うつのみや病院

**P- 28 肺小細胞がんにおいて薬剤耐性に関与するプリン代謝機構**

丸山 亜美<sup>1,2</sup>、梅村 茂樹<sup>3</sup>、牧野嶋 秀樹<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人庄内地域産業振興センター、<sup>2</sup>国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点、  
<sup>3</sup>国立がん研究センター東病院

**P- 29 Mieap を介した低酸素環境下 mitochondria 品質管理機構とその破綻による胃癌悪性度増強機序**

奥山 桂一郎<sup>1</sup>、北島 吉彦<sup>1,2</sup>、田中 智和<sup>1</sup>、能城 浩和<sup>1</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学一般・消化器外科、<sup>2</sup>国立病院機構東佐賀病院 外科

**P- 30 CD44/CD133-Positive Colorectal Cancer Stem Cells Are Sensitive to Trifluridine**

常國 健太<sup>1</sup>、今野 雅允<sup>2</sup>、小関 準<sup>3</sup>、浅井 歩<sup>3</sup>、土岐 祐一郎<sup>4</sup>、森 正樹<sup>4</sup>、石井 秀始<sup>3</sup>

<sup>1</sup>大鵬薬品工業株式会社育薬研究所、<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科先進癌薬物療法開発学講座、  
<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科疾患データサイエンス学共同研究講座、  
<sup>4</sup>大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 31 新規トランスオミックス法を用いたがん幹細胞の DNA メチル化量及び転写量変化の相関解析**

小関 準<sup>1</sup>、今野 雅允<sup>2</sup>、浅井 歩<sup>1,2,3</sup>、佐藤 太郎<sup>2</sup>、土岐 祐一郎<sup>3</sup>、森 正樹<sup>3</sup>、石井 秀始<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 疾患データサイエンス、<sup>2</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 先進癌薬物療法開発学、  
<sup>3</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学

**P- 32 AMBRA1 は TCR シグナル下流で生じる代謝リプログラミングと増殖制御に関与する**

佐藤 健人<sup>1</sup>、赤塚 尚子<sup>1</sup>、増原 香織<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東海大学医学部生体防御学、<sup>2</sup>東海大学医学部分子生命科学

**P- 33 イメージング質量分析による組織内腫瘍の代謝可視化**

杉浦 悠毅

慶應義塾大学医学部医化学教室

**P- 34 肺癌の外科および生検検体を用いたメタボローム解析**

渡辺 光<sup>1</sup>、宇田川 響<sup>2</sup>、梅村 茂樹<sup>2</sup>、曾我 朋義<sup>3</sup>、牧野嶋 秀樹<sup>4</sup>

<sup>1</sup>日本海総合病院呼吸器外科、<sup>2</sup>国立がん研究センター東病院呼吸器内科、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学先端生命科学研究所、<sup>4</sup>国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点

**P- 35 葉酸代謝拮抗薬投与による悪性胸膜中皮腫における核酸代謝産物への影響**

佐藤 雄三<sup>1</sup>、松田 詩織<sup>1</sup>、牧野嶋 秀樹<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人庄内地域産業振興センター、<sup>2</sup>国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点

**P- 36 LAT1 阻害剤 JPH203 は、IGFBP-5 を介して、膀胱癌細胞の増殖、浸潤、遊走能を阻害する**

坂本 信一<sup>1</sup>、MAIHULAN MAIMAITI<sup>1,2</sup>、今村 有佑<sup>1</sup>、降幡 知己<sup>2</sup>、金井 好克<sup>3</sup>、安西 尚彦<sup>2</sup>、市川 智彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学、  
<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院 薬理学、<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科生体システム薬理学

**P- 37 乳がんにおける葉酸代謝酵素 MTHFD1L の役割**

西村 建徳<sup>1</sup>、Mengjiao Li<sup>2</sup>、西村 和記<sup>1</sup>、佐藤 成樹<sup>3</sup>、後藤 典子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢大学がん進展制御研究所分子病態研究分野、<sup>2</sup>Fudan University Shanghai Cancer Center  
<sup>3</sup>金沢大学医薬保健学域医学類

**P- 38 癌間質トランスクリプトーム解析**

西田 尚弘<sup>1</sup>、工藤 敏啓<sup>2</sup>、坂井 大介<sup>2</sup>、水島 恒和<sup>3</sup>、佐藤 太郎<sup>2</sup>、石井 秀始<sup>4</sup>、土岐 祐一郎<sup>1</sup>、森 正樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 消化器外科学、<sup>2</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 先進癌薬物療法開発学<sup>3</sup>、大阪大学大学院 医学系研究科 炎症性腸疾患治療学、<sup>4</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 疾患データサイエンス学

**P- 39 (演題取り下げ)**

**P- 40 Polyamine Flux Suppresses Histone Lysine Demethylases and Enhances *IDI* Gene Expression in Cancer Stem Cells**

玉利 慶介<sup>1,2,3</sup>、今野 雅允<sup>2</sup>、浅井 歩<sup>3</sup>、小関 準<sup>3</sup>、小川 和彦<sup>1</sup>、土岐 祐一郎<sup>4</sup>、森 正樹<sup>4</sup>、石井 秀始<sup>3</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学、<sup>2</sup>先進癌化学療法開発学、<sup>3</sup>疾患データサイエンス学、<sup>4</sup>消化器外科学

**P- 41 造血幹細胞のがん化に関与するリボヌクレアーゼの同定**

木戸屋 浩康<sup>1</sup>、島村 徹平<sup>2</sup>、國崎 祐也<sup>3</sup>、村松 史隆<sup>1</sup>、林 弓美子<sup>1</sup>、高倉 伸幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 システム生物学分野、<sup>3</sup>九州大学医学研究院 がん幹細胞医学分野

**P- 42 進行再発大腸癌に対する Capecitabine / irinotecan (CapIRI) plus bevacizumab (BEV) 療法における *UGT1A1* 遺伝子多型に関する検討 (CCOG-1201 試験より)**

中山 吾郎、服部 憲史、佐藤 雄介、宇野 泰朗、田中 千恵、小林 大介、神田 光郎、山田 豪、小池 聖彦、藤原 道隆、小寺 泰弘

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 43 ステアリン酸・パルミチン酸比は非 B 非 C 肝癌の ER ストレス関連アポトーシスを制御する**

森田 剛文、柴崎 泰、坂口 孝宣、北嶋 諒、古橋 暁、木内 亮太、武田 真、平出 貴乗、菊池 寛利、竹内 裕也

浜松医科大学 外科学第二講座

**P- 44 膵癌切除症例における Controlling Nutritional Status (CONUT) score の臨床的**

**意義**

加藤 吉康<sup>1</sup>、山田 豪<sup>2</sup>、高見 秀樹<sup>2</sup>、末永 雅也<sup>2</sup>、林 真路<sup>2</sup>、丹羽 由紀子<sup>2</sup>、服部 憲史<sup>2</sup>、神田 光郎<sup>2</sup>、岩田 直樹<sup>2</sup>、小林 大介<sup>2</sup>、田中 千恵<sup>2</sup>、中山 吾郎<sup>2</sup>、小池 聖彦<sup>2</sup>、藤原 道隆<sup>2</sup>、小寺 泰弘<sup>2</sup>

<sup>1</sup>西尾市民病院外科、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 45 NAFLD を基礎肝疾患とした肝細胞癌の特徴**

多田 和裕、太田 正之、岩下 幸雄、内田 博喜、嵯峨 邦裕、平下 禎二郎、遠藤 裕一、猪股 雅史

大分大学消化器・小児外科学講座

**P- 46 がん幹細胞様細胞における CD44 isoforms 発現**

恒富 亮一<sup>1</sup>、西山 光郎<sup>1</sup>、松隈 聡<sup>1</sup>、鈴木伸明<sup>1</sup>、武田 茂<sup>1</sup>、山本 滋<sup>1</sup>、  
吉野 茂文<sup>2</sup>、碓 彰一<sup>3</sup>、上野 富雄<sup>4</sup>、永野 浩昭<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学、<sup>2</sup>山口大学医学部附属病院腫瘍センター、  
<sup>3</sup>山口大学医学部先端がん治療開発学、<sup>4</sup>川崎医科大学消化器外科

**P- 47 食道癌において Na<sup>+</sup>/H<sup>+</sup> exchanger 1 (NHE1)は腫瘍抑制に機能する**

小西 智規、塩崎 敦、有吉 要輔、庄田 勝俊、有田 智洋、小菅 敏幸、小西 博貴、  
森村 玲、村山 康利、栗生 宜明、生駒 久視、窪田 健、中西 正芳、藤原 斉、  
岡本 和真、大辻 英吾

京都府立医科大学 外科学教室 消化器外科部門

**P- 48 大腸癌の周囲間における miR-198 の低下と tenascin C 発現亢進を介した肝転移機構**

菊池 寛利<sup>1</sup>、村上 智洋<sup>1</sup>、川田 三四郎<sup>1</sup>、廣津 周<sup>1</sup>、松本 知拓<sup>1</sup>、尾崎 裕介<sup>1</sup>、  
平松 良浩<sup>1</sup>、神谷 欣志<sup>1</sup>、森田 剛文<sup>1</sup>、山本 真義<sup>1</sup>、竹内 裕也<sup>1</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学医学部外科学第二講座

**P- 49 胃癌・大腸癌における予後予測マーカーである癌特異的 Cysteine dioxygenase type 1 (CDO1) 遺伝子の DNA メチル化の臨床的意義**

原田 宏輝<sup>1, 2</sup>、山下 継史<sup>3</sup>、小寫 慶太<sup>1, 2</sup>、横井 圭悟<sup>1, 4</sup>、鷺尾 真理愛<sup>2</sup>、  
江間 玲<sup>2</sup>、三重野 浩朗<sup>2</sup>、森谷 宏光<sup>2</sup>、細田 桂<sup>2</sup>、渡邊 昌彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北里大学大学院医療系研究科、<sup>2</sup>北里大学一般外科学、<sup>3</sup>新世紀医療開発センター先端医療領域  
開発部門外科腫瘍学、<sup>4</sup>国立病院機構相模原病院外科

**P- 50 大腸癌術後の炎症が再発に及ぼす影響の検討**

松原 大樹、有田 智洋、中西 正芳、栗生 宜明、村山 康利、工藤 道弘、  
庄田 勝俊、小菅 敏幸、小西 博貴、森村 玲、塩崎 敦、生駒 久視、窪田 健、  
藤原 斉、岡本 和真、大辻 英吾

京都府立医科大学 消化器外科

**P- 51 Inhibition of 15-PGDH causes Kras-driven tumor expansion through all-trans retinoic acid metabolism in the pancreas**

Takatsugu Ishimoto<sup>1, 2</sup>、Kota Arima<sup>1, 2</sup>、Naoya Yoshida<sup>1</sup>、Yoshifumi Baba<sup>1</sup>、  
Yo-ichi Yamashita<sup>1</sup>、Hideo Baba<sup>1</sup>

Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University<sup>1</sup>, International Research Center of Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University<sup>2</sup>

- P- 52 腫瘍再発モデルにおける末梢血中の骨髄由来抑制細胞(MDSC)の推移**  
杉田 裕、山下 公大、田中 智子、福岡 英志、有本 聡、長谷川 寛、山本 将士、  
金治 新悟、松田 佳子、松田 武、押切 太郎、角 泰雄、中村 哲、鈴木 知志、  
掛地 吉弘  
神戸大学大学院医学研究科外科学講座 食道胃腸外科学講座
- P- 53 びまん型胃がんの免疫ゲノム解析による腫瘍免疫システムの本態解析**  
渥美 振一郎<sup>1,2</sup>、加藤 洋人<sup>1</sup>、河村 大輔<sup>1</sup>、瀬戸 泰之<sup>2</sup>、石川 俊平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム病理学分野、<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科消化管外科学
- P- 54 Src 時空間的制御による上皮細胞層からの細胞逸脱の方向性決定**  
梶原 健太郎<sup>1</sup>、岡田 雅人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学 微生物病研究所 発癌制御研究分野
- P- 55 膵癌抑制型 Passenger-strand microRNA を用いた機能性 RNA ネットワークの探索**  
伊地知 徹也<sup>1</sup>、蔵原 弘<sup>1</sup>、前村 公成<sup>1</sup>、又木 雄弘<sup>1</sup>、迫田 雅彦<sup>1</sup>、飯野 聡<sup>1</sup>、  
川崎 洋太<sup>1</sup>、橋口 真征<sup>1</sup>、上野 真一<sup>2</sup>、新地 洋之<sup>3</sup>、夏越 祥次<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科、<sup>2</sup>鹿児島大学臨床腫瘍学、<sup>3</sup>鹿児島大学医学部保健学科
- P- 56 組換え型トロンボモジュリンが腹膜炎モデルマウス移植腫瘍の発育に及ぼす影響の検討**  
天田 塩<sup>1</sup>、福田 和正<sup>1</sup>、熊谷 厚志<sup>2</sup>、川久保 博文<sup>1</sup>、北川 雄光<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科、<sup>2</sup>がん研有明病院 消化器センター 胃外科
- P- 57 食道癌手術における十二指腸瘻チューブ留置の有用性**  
武田 重臣<sup>1,2</sup>、小池 聖彦<sup>1</sup>、園原 史訓<sup>1</sup>、服部 憲史<sup>1</sup>、高見 秀樹<sup>1</sup>、末永 雅也<sup>1</sup>、  
丹羽 由紀子<sup>1</sup>、岩田 直樹<sup>1</sup>、神田 光郎<sup>1</sup>、林 真路<sup>1</sup>、田中 千恵<sup>1</sup>、小林 大介<sup>1</sup>、  
山田 豪<sup>1</sup>、中山 吾郎<sup>1</sup>、藤原 道隆<sup>1</sup>、小寺 泰弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学、<sup>2</sup>西尾市民病院
- P- 58 食道癌における PD-L1 および IDO1 発現の網羅的解析**  
馬場 祥史、清住 雄希、岡留 一雄、八木 泰祐、黒田 大介、澤山 浩、日吉 幸晴、  
岩槻 政晃、宮本 裕士、吉田 直矢、馬場 秀夫  
熊本大学大学院 消化器外科学

- P- 59 抗 LSR 抗体を用いた脂質取り込みの阻害を介した胃癌細胞の増殖阻害についての検討**  
高橋 剛<sup>1</sup>、菅生 貴仁<sup>1,2</sup>、斎藤 百合奈<sup>1</sup>、世良田 聡<sup>2</sup>、藤本 穰<sup>2</sup>、田中 晃司<sup>1</sup>、  
宮崎 安弘<sup>1</sup>、牧野 知紀<sup>1</sup>、黒川 幸典<sup>1</sup>、中島 清一<sup>1</sup>、山崎 誠<sup>1</sup>、仲 哲治<sup>2</sup>、  
森 正樹<sup>1</sup>、土岐 祐一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学、<sup>2</sup>高知大学 免疫難病センター
- P- 60 ヒストン脱メチル化酵素 KDM5A と RB が制御する代謝分子の探索**  
河野 晋<sup>1</sup>、岡橋 伸幸<sup>2</sup>、松田 史生<sup>2</sup>、清水 浩<sup>2</sup>、高橋 智聡<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学がん進展制御研究所腫瘍分子生物学、<sup>2</sup>大阪大学大学院情報科学研究科
- P- 61 胃癌におけるメトホルミンの抗腫瘍効果の解析**  
関野 伸史<sup>1</sup>、加野 将之<sup>1</sup>、坂田 治人<sup>1</sup>、村上 健太郎<sup>1</sup>、豊住 武司<sup>1</sup>、大塚 亮太<sup>1</sup>、  
横山 将也<sup>1</sup>、白石 匡<sup>1</sup>、岡田 晃一郎<sup>1</sup>、松原 久裕<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学がん進展制御研究所腫瘍分子生物学、<sup>2</sup>大阪大学大学院情報科学研究科
- P- 62 肝内胆管癌と鑑別が困難であった術後 13 年目の乳癌肝転移の一例**  
福久 はるひ<sup>1</sup>、迫田 雅彦<sup>1</sup>、飯野 聡<sup>1</sup>、川崎 洋太<sup>1</sup>、又木 雄弘<sup>1</sup>、東 美智代<sup>2</sup>、  
上野 真一<sup>3</sup>、夏越 祥次<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学、<sup>2</sup>鹿児島大学大学院 人体がん病理学、  
<sup>3</sup>鹿児島大学大学院 臨床腫瘍学
- P- 63 難治性腹水を伴った巨大胃 GIST の一例**  
保坂 優斗<sup>1</sup>、石神 純也<sup>1</sup>、柳田 茂寛<sup>1</sup>、安留 龍太郎<sup>1</sup>、恵 浩一<sup>1</sup>、瀬戸山 徹郎<sup>1</sup>、  
有上 貴明<sup>2</sup>、夏越 祥次<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学大学院 消化器・乳腺甲状腺外科学、<sup>2</sup>鹿児島大学大学院 人体がん病理学、  
<sup>3</sup>鹿児島大学大学院 臨床腫瘍学
- P- 64 放射線がもたらす腫瘍微小環境の変化の解析**  
福岡 英志<sup>1</sup>、山下 公大<sup>1</sup>、中川 暁雄<sup>1</sup>、長谷川 寛<sup>1</sup>、松田 武<sup>1</sup>、山本 将士<sup>1</sup>、  
金治 新悟<sup>1</sup>、松田 佳子<sup>1</sup>、押切 太郎<sup>1</sup>、中村 哲<sup>1</sup>、角 泰雄<sup>1</sup>、鈴木 知志<sup>1</sup>、  
掛地 吉弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野
- P- 65 難治性白血病のエネルギー代謝特性を標的とした治療法の探索**  
齋藤 祐介<sup>1</sup>、木下 真理子<sup>1</sup>、澤 大介<sup>1</sup>、上村 幸代<sup>1</sup>、山田 愛<sup>1</sup>、森下 和広<sup>2</sup>、  
曾我 朋義<sup>3</sup>、盛武 浩<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、  
<sup>2</sup> 宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野、<sup>3</sup> 慶應義塾大学先端生命科学研究所

**P- 66 アンチトロンピンは抗炎症作用を介して肝癌進展を制御する**

沖本 将<sup>1</sup>、田代 裕尊<sup>2</sup>、小林 剛<sup>1</sup>、黒田 慎太郎<sup>1</sup>、大段 秀樹<sup>1</sup>  
広島大学病院 消化器・移植外科<sup>1</sup>、国立呉医療センター 外科<sup>2</sup>

**P- 67 腫瘍浸潤マクロファージが膵癌における PD-L1 の発現を増強する**

塚本 雅代、今井 克憲、石本 崇胤、菰原 義弘、梅崎 直紀、山尾 宣暢、  
伊東山 瑠美、中尾 陽佑、遊佐 俊彦、宮田 辰徳、岡部 弘尚、中川 茂樹、  
山下 洋市、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫  
熊本大学大学院消化器外科学

**P- 68 食道癌における栄養状態と腫瘍浸潤リンパ球の関連**

岡留 一雄、馬場 祥史、八木 泰祐、清住 雄希、黒田 大介、澤山 浩、日吉 幸晴、  
岩槻 政晃、宮本 裕士、吉田 直矢、馬場 秀夫  
熊本大学大学院 消化器外科学

**P- 69 肝内胆管癌における術前炎症および栄養状態と予後との関連**

山尾 宣暢、山下 洋市、宮田 辰徳、伊東山 瑠美、中尾 陽佑、遊佐 俊彦、  
梅崎 直紀、塚本 雅代、北野 雄希、中川 茂樹、岡部 弘尚、今井 克憲、  
新田 英利、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫  
熊本大学大学院 消化器外科学

**P- 70 胃癌細胞の低浸透圧下調節性容積減少に及ぼす温度の影響**

満田 雅人<sup>1</sup>、塩崎 敦<sup>1</sup>、小菅 敏幸<sup>1</sup>、工藤 道弘<sup>1</sup>、山里 有三<sup>1</sup>、庄田 勝俊<sup>1</sup>、  
有田 智洋<sup>1</sup>、小西 博貴<sup>1</sup>、森村 玲<sup>1</sup>、村山 康利<sup>1</sup>、栗生 宜明<sup>1</sup>、生駒 久視<sup>1</sup>、  
窪田 健<sup>1</sup>、中西 正芳<sup>1</sup>、藤原 斉<sup>1</sup>、岡本 和真<sup>1</sup>、大辻 英吾<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学 外科学教室 消化器外科部門

**P- 71 胃癌腹膜播種関連遺伝子として抽出した FGFR1 発現の意義**

清水 大<sup>1, 3</sup>、斎藤 衆子<sup>1</sup>、伊藤 修平<sup>1</sup>、増田 隆明<sup>1</sup>、柳原 五吉<sup>2</sup>、小寺 泰弘<sup>3</sup>、  
三森 功士<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院別府病院外科、<sup>2</sup>国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカー探索 TR 分野、<sup>3</sup>名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学

**P- 72 膵癌に対する術前化学療法におけるサルコペニアの意義**

松木 裕輝<sup>1</sup>、松山 隆生<sup>1</sup>、中崎 佑介<sup>1</sup>、佐原 康太<sup>1</sup>、土屋 伸広<sup>1</sup>、村上 崇<sup>1</sup>、  
藪下 泰宏<sup>1</sup>、澤田 雄<sup>1</sup>、熊本 宜文<sup>1</sup>、遠藤 格<sup>1</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科学講座

- P-73 術前化学放射線治療を施行した食道癌患者の治療前栄養スコアの検討**  
平島 忠寛<sup>1</sup>、尾本 至<sup>1</sup>、内門 泰斗<sup>1</sup>、佐々木 健<sup>1</sup>、奥村 浩<sup>1</sup>、有上 貴明<sup>1</sup>、  
柳田 茂寛<sup>1</sup>、大脇 哲洋<sup>2</sup>、前村 公成<sup>1</sup>、夏越 祥次<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学、  
<sup>2</sup> 鹿児島大学大学院地域医療学分野離島へき地医療人育成センター
- P-74 肝内胆管癌根治切除症例における周術期 CRP/Alb 比による予後予測に関する検討**  
中尾 陽佑、山下 洋市、有馬 浩太、伊東山 瑠美、遊佐 俊彦、梅崎 直紀、  
塚本 雅代、山尾 宣暢、北野 雄希、宮田 辰徳、中川 茂樹、今井 克憲、  
新田 英利、近本 亮、石河 隆敏、馬場 秀夫  
<sup>1</sup> 鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学、  
<sup>2</sup> 鹿児島大学大学院地域医療学分野離島へき地医療人育成センター
- P-75 シスプラチン耐性肝芽腫細胞株に高発現したトランスポーター遺伝子**  
藤好 直、本多 昌平、湊 雅嗣、荒 桃子、宮城 久之、小林 希、武富 紹信  
北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I
- P-76 大腸腫瘍手術における ICG 蛍光法による術中イメージング用いた Navigation Surgery の実際**  
瀬戸山 徹郎<sup>1</sup>、石神 純也<sup>1</sup>、恵 浩一<sup>1</sup>、保坂 優斗<sup>1</sup>、安留 龍太郎<sup>1</sup>、奥村 浩<sup>2</sup>、  
前之原 茂穂<sup>2</sup>、夏越 祥次<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 鹿児島県立大島病院 外科、<sup>2</sup> 鹿児島厚生連病院 外科、<sup>3</sup> 鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科学
- P-77 大腸癌における活性酸素種低発現細胞の機能解析と特異的マーカーの同定**  
原口 直紹、高橋 秀和、三吉 範克、畑 泰司、松田 宙、水島 恒和、土岐 祐一郎、  
森 正樹  
大阪大学大学院 外科学講座消化器外科学
- P-78 乳癌における GCNT2 遺伝子メチル化の臨床的意義**  
田中 蓉子<sup>1</sup>、山下 継史<sup>1,2</sup>、原田 宏輝<sup>1</sup>、横田 和子<sup>1</sup>、菊池 真理子<sup>3</sup>、小坂 愉賢<sup>3</sup>、  
加藤 弘<sup>3</sup>、仙石 紀彦<sup>3</sup>、渡邊 昌彦<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 北里大学大学院医療系研究科外科学、<sup>2</sup> 北里大学医学部新世紀医療開発センター外科腫瘍腫瘍学、  
<sup>3</sup> 北里大学病院乳腺・甲状腺外科、<sup>4</sup> 北里大学医学部外科学
- P-79 化合物ライブラリーを用いた抗癌剤耐性 ABC トランスポーター抑制剤の同定**  
大沼 忍<sup>1</sup>、杉沢 徳彦<sup>1</sup>、石田 晶玄<sup>1</sup>、鈴木 秀幸<sup>1</sup>、井本 博文<sup>1</sup>、山村 明寛<sup>1</sup>、  
唐澤 秀明<sup>1</sup>、神山 篤史<sup>1</sup>、青木 豪<sup>1</sup>、渡辺 和宏<sup>1</sup>、田中 直樹<sup>1</sup>、武者 宏昭<sup>1</sup>、  
元井 冬彦<sup>1</sup>、亀井 尚<sup>1</sup>、内藤 剛<sup>1</sup>、海野 倫明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東北大学大学院消化器外科学

- P- 80 **HER2 高発現食道扁平上皮癌細胞における FP 療法及び Trastuzumab の併用による抗腫瘍効果の増強作用の検証と効果予測因子 Foxo3a の役割**  
福田 和正<sup>1,2</sup>、高橋 剛志<sup>3</sup>、川久保 博文<sup>1</sup>、北川 雄光<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部外科学教室（一般・消化器）、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部癌基盤研究寄附講座、<sup>3</sup>稲城市立病院外科
- P- 81 **大腸癌と癌化における HOPX  $\beta$  遺伝子のプロモーターDNA メチル化の臨床的意義**  
横田 和子<sup>1</sup>、山下 継史<sup>2</sup>、田中 蓉子<sup>1</sup>、原田 宏輝<sup>1</sup>、大泉 陽介<sup>1</sup>、小嶋 慶太<sup>1</sup>、加藤 弘<sup>3</sup>、渡邊 昌彦<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>北里大学大学院医学系研究科外科学、<sup>2</sup>北里大学医学部新世紀医療開発センター外科腫瘍学、<sup>3</sup>北里大学病院乳腺甲状腺外科、<sup>4</sup>北里大学医学部外科学
- P- 82 **術前化学放射線療法が著効した進行胃癌の一例**  
安留 龍太郎<sup>1</sup>、石神 純也<sup>1</sup>、瀬戸山 徹郎<sup>1</sup>、恵 浩一<sup>1</sup>、保坂 優斗<sup>1</sup>、夏越 祥次<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島県立大島病院 外科、<sup>2</sup>鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科学
- P- 83 **Colitis Associated Cancer における Sirtuin の発現解析**  
山本 真義<sup>1</sup>、阪田 麻裕<sup>1</sup>、上嶋 徳<sup>1</sup>、川村 崇文<sup>1</sup>、鈴木 雄飛<sup>1</sup>、鈴木 克徳<sup>1</sup>、赤井 俊也<sup>1</sup>、森田 剛文<sup>1</sup>、菊池 寛利<sup>1</sup>、坂口 孝宣<sup>1</sup>、倉地 清隆<sup>1</sup>、竹内 裕也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学 第二外科
- P- 84 ***In vivo* エレクトロポレーションを用いたマウス発がんモデルならびに簡便な遺伝子改変マウス作製法の開発**  
大西 伸幸<sup>1</sup>、大塚 正人<sup>2</sup>、佐藤 正宏<sup>3</sup>、佐谷 秀行<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門、<sup>2</sup>東海大学医学部 基礎医学系 分子生命科学、<sup>3</sup>鹿児島大学 総合科学域総合研究学系 研究推進機構 医用ミニブタ・先端医療開発研究センター 遺伝子発現制御分野
- P- 85 **StageIV 大腸癌における原発巣切除とリンパ節郭清の意義**  
大熊 誠尚、佐々木 茂真、武田 泰裕、谷田部 沙織、伊藤 大介、野秋 朗多、小菅 誠、衛藤 謙、矢永 勝彦  
東京慈恵会医科大学外科
- P- 86 **A distinct function of the retinoblastoma protein in the control of lipid composition identified by lipidomic profiling**  
Hayato Muranaka<sup>1</sup>, Akio Hayashi<sup>2</sup>, Keiichi Minami<sup>3</sup>, Shunsuke Kitajima<sup>1,4</sup>, Susumu Kohno<sup>1</sup>, Yuuki Nishimoto<sup>1</sup>, Naoko Nagatani<sup>1</sup>, Misa Suzuki<sup>1</sup>, Nilakshi Kulathunga<sup>1</sup>, Nobunari Sasaki<sup>1,5</sup>, Nobuhiro Okada<sup>1</sup>, Takashi Matsuzaka<sup>6</sup>, Hitoshi Shimano<sup>6</sup>, Hideaki Tada<sup>7</sup>, Chiaki Takahashi<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>Division of Oncology and Molecular Biology, Cancer Research Institute, Kanazawa University, <sup>2</sup>Exploratory Research Laboratories, Minase Research Institute, Ono Pharmaceutical Co., Ltd, <sup>3</sup>Advanced Medical Research Laboratories, Ono Pharmaceutical Co., Ltd, <sup>4</sup>Department of Medical Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, <sup>5</sup>Department of Clinical Pharmacokinetics and Pharmacodynamics, School of Medicine, Keio University, <sup>6</sup>Department of Endocrinology and Metabolism, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, <sup>7</sup>Oncology Research and Development Center, Minase Research Institute, Ono Pharmaceutical Co., Ltd

協賛・企業展示・広告掲載 企業・団体一覧

(50音順)

コヴィディエンジャパン株式会社

株式会社島津テクノロジー

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

大鵬薬品工業株式会社

武田薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

ナカライテスク株式会社

日本イーライリリー株式会社

ミヤリサン製薬株式会社

株式会社ヤクルト本社

株式会社ロジックバイオ

本大会の開催にあたり、皆様より多数のご協力を賜りました。  
ここに深甚なる感謝の意を表します。

第6回がんと代謝研究会 in 奄美大島  
実行委員長 森 正樹